

夏のトラブルについて

あと1ヶ月で梅雨が明けます。
その後、本格的な夏が訪れることとなります。
外来には、もうすでに来ていますが「熱中症」の方が急増するでしょう。
さらに皮膚のトラブルも増えます。
汗疹（あせも）、湿疹、虫さされなども多くなります。
これらの皮膚を引っ掻いて、細菌感染を起こすと
トビヒ（伝染性膿痂疹）になります。



熱中症

意外に室内で熱中症を起こす人が多く、こまめな水分補給が大切です。
頭痛、倦怠感があれば注意です。
熱中症単独で高熱が出る事はまずありません。

虫さされ

虫、特に蚊に刺されると皮膚が大きく腫れあがり、固くなる（硬結）
体質の人がいます。
虫に刺されたら気付いたら、なるべく引っかかないようにする。



やけど

夏はキャンプやバーベキューを楽しむ人がいます。
お父さんが料理中の鉄板や器具に触れてやけどを負う機会が増えるので注意です。
海や河で日焼けをしすぎて体のやけどをする人もいます。

夏カゼ

新型コロナの影響で、ここ2年間は夏カゼがほぼ見られませんでした。
今年は少しずつ夏カゼが見られるかも知れません。
夏カゼの特徴は、急な高熱、ノドの痛み、頭痛などがあります。
基本的に「発熱のみ」というカゼが多くなります。

顔面のほてり

プール、グランドなどの日航の照り返しが影響します。
暑い環境下で作業・仕事をしている方も注意です。
口喝を伴うことも多いです。



イオン飲料

スポーツをする人が愛用しています。
気を付けなくてはいけないのは、OS-1®などとは異なって、糖分の量が多くなっています。
脱水が心配だからといって、イオン飲料（市販）を飲み続けていると、ある一定レベル以上になる高血糖でぶっ倒れることがあるので御注意下さい。



使える漢方薬

倦怠感、食欲不振	補中益気湯 ＜ 清暑益気湯(夏バージョン) 
胃がもたれて 食べられない	六君子湯 
冷房で冷えて 腰痛、頭痛	五積散、 当帰四逆加呉茱萸生姜湯 
冷えて軟便、腹痛	人参湯、 真武湯(へばった人に) 
冷えて鼻汁が 止まらない	麻黄附子細辛湯 
熱中症で頭痛あり	五苓散 
顔面のほてり、 ノド、口の渇き	白虎加人参湯 
鼻血が止まらない	黄連解毒湯、 三黄瀉心湯(便秘のある人に) 

お知らせ

岐阜市の漢方外来 7月9日(土)、23日(土)

時間: 14:00-17:30 場所: 中島小児科(岐阜市健康東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日 7月1日(金)

時間: 19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院

休診のお知らせ 7月27日(水)

都合により休診します。よろしくお願ひします。